

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第10週の発生動向

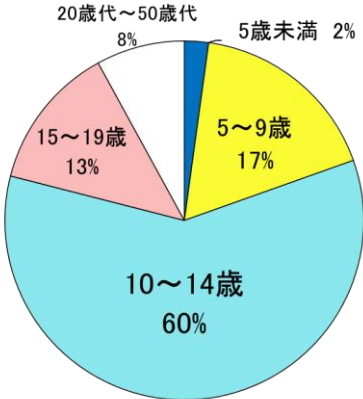
トピックス

・百日咳 (2018 年から全数把握対象疾患)

10 週までの診断週による累計報告数が 138 例となった。今年に入り報告数が多い状況が続いており、年齢群別では、10 歳代が全体の約 7 割を占めている。また、保健所別では都城保健所管内からの報告が最も多く、35 例となっている。

2025 年 (第 1 週～第 10 週) 保健所別・年齢別報告数

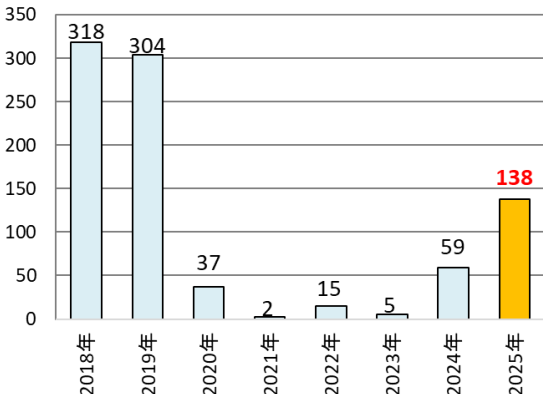
保健所名	報告数
宮崎市	21
都城	35
延岡	26
日南	7
小林	0
高鍋	26
高千穂	0
日向	9
中央	14



※60 歳以上の報告はなかった。

年齢	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代～50歳代
報告数	3	24	82	18	11

診断週による年別累計報告数の推移 (2018 年～2025 年*)



※2025 年は第 1 週～第 10 週まで

全数報告の感染症 (10 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。

4 類感染症：報告なし。5 類感染症：梅毒 3 例、百日咳 30 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	男	肺結核	咳
			50歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難、体重減少、右胸水
5類	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			10歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹、丘疹性梅毒疹
			10歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群					症状
				0～4歳	5～9歳	10歳代	30歳代	40歳代	
5類	百日咳	宮崎市	5例			2		3	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタカート、ウーブ、嘔吐、無呼吸発作、チアノーゼ、白血球数増多
		都城	4例			4			
		延岡	5例			4	1		
		日南	3例			3			
		高鍋	6例		1	5			
		日向	5例	1	1	3			
		中央	2例			2			

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は990人(定点当たり25.7)で、前週比106%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は171人(3.0)で、前週比88%と減少した。高千穂(6.0)、延岡(5.1)、中央(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は60歳以上が全体の約4割、15歳未満が全体の約3割を占めた。

【感染性胃腸炎】

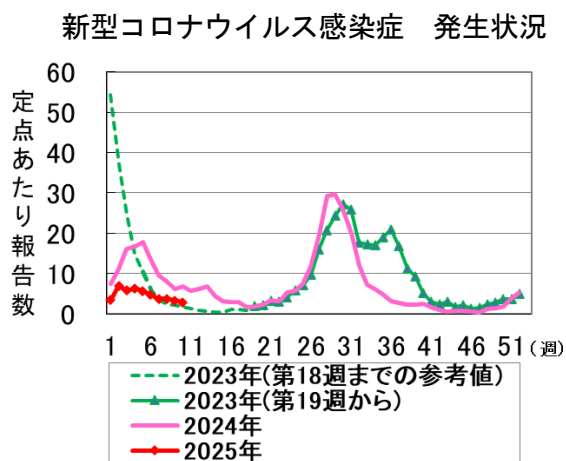
報告数は535人(14.9)で、前週比107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.5)の約1.4倍であった。中央(20.0)、小林(19.7)、都城(18.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から6歳が全体の約6割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

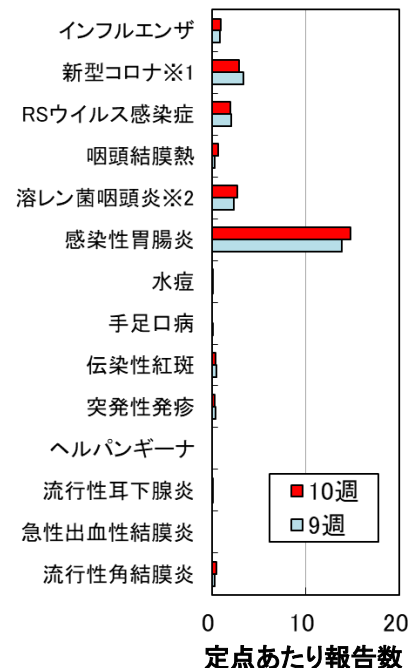
報告数は99人(2.8)で、前週比115%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.5)の1.1倍であった。中央(13.0)、日南(6.0)、高千穂(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は3歳から9歳が全体の約7割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

《前週との比較》

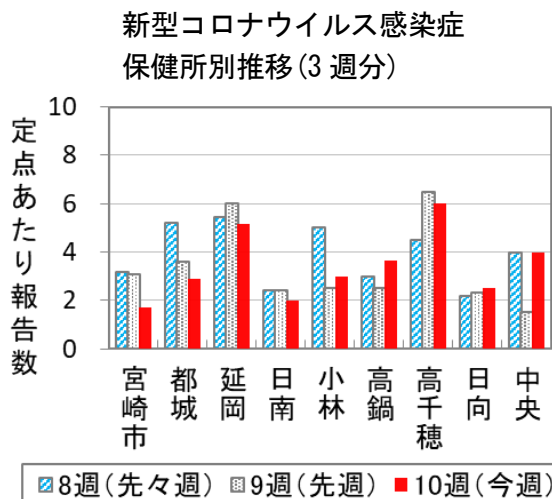


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

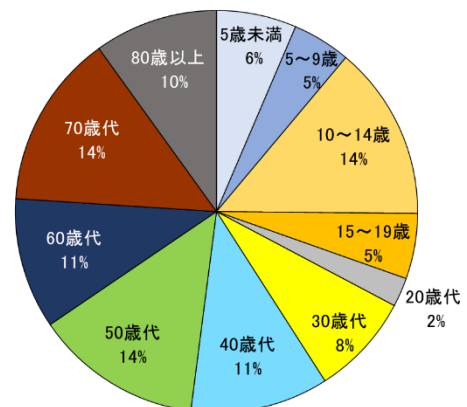


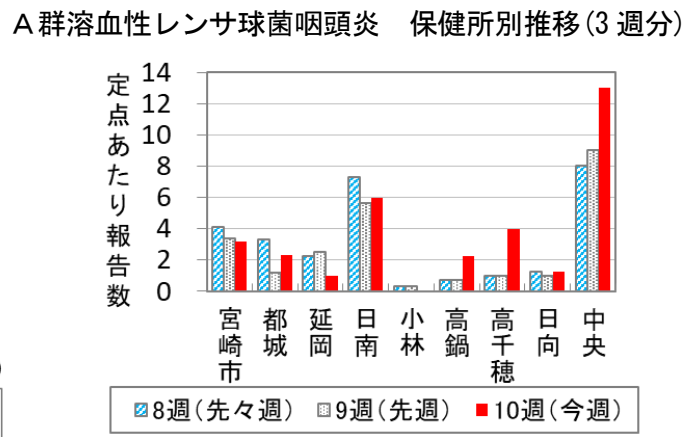
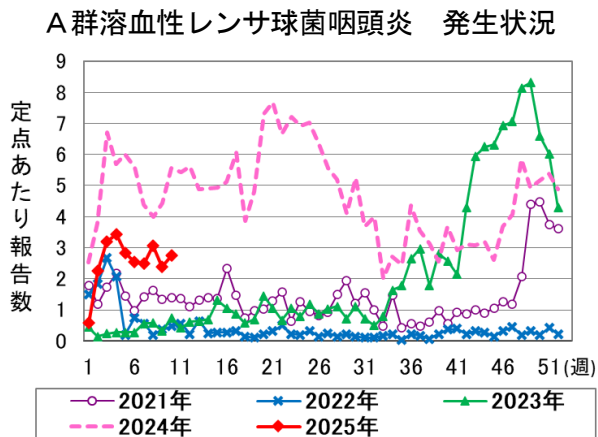
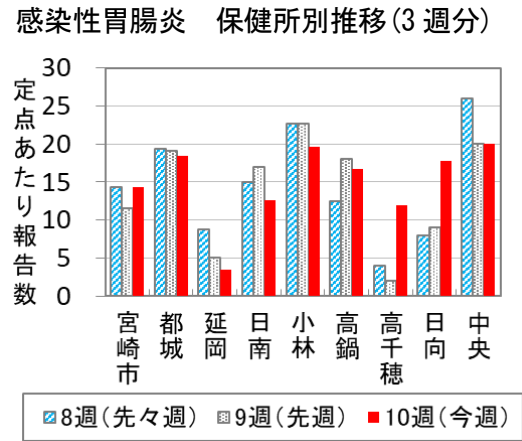
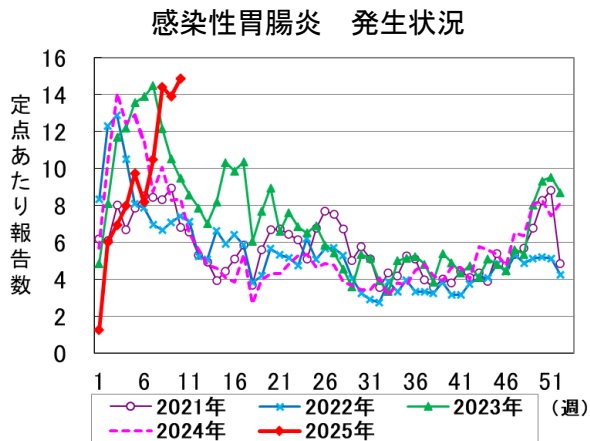
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第10週)





★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は1例(定点当たり0.1)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢は5～9歳で、病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

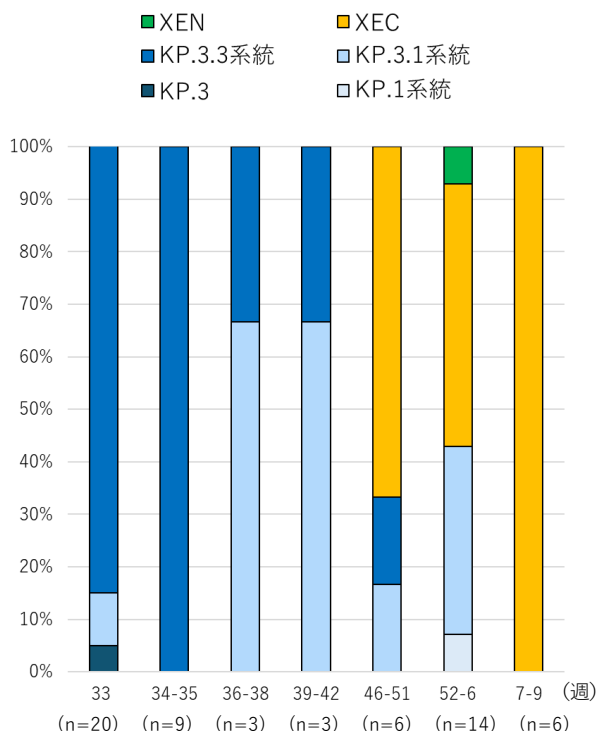
保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(13.0)、 感染性胃腸炎(20.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第7-9週は全てがXEC系統であった。

※XECはKS.1.1とKP.3.3の組換え株で、現在、日本、欧米で流行している。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合、割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

全国 2025 年第 9 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	215 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18 例				
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	5 例	デング熱	1 例
	レジオネラ症	32 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	28 例
	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	19 例
	後天性免疫不全症候群	9 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13 例	侵襲性肺炎球菌感染症	61 例
	水痘(入院例)	5 例	梅毒	157 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	353 例
	麻しん	4 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 92%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は21,790人(4.4)で前週比89%と減少した。佐賀県(8.2)、愛知県(6.6)、長野県(6.6)からの報告が多く、年齢群別では60歳以上が全体の約3割、15歳未満が全体の約2割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は30,748人(9.8)で前週比95%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(6.1)の約1.6倍であった。大分県(23.2)、愛媛県(17.2)、熊本県(17.1)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約2割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

疾病名		第09週	第10週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	50	55	6	11	9	2		5	17		5
	定点当り	0.86	0.95	0.38	1.10	1.29	0.40	0.00	0.83	8.50	0.00	2.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	194	171	27	29	36	10	12	22	12	15	8
	定点当り	3.34	2.95	1.69	2.90	5.14	2.00	3.00	3.67	6.00	2.50	4.00
RSウイルス感染症	報告数	74	71	26	12	8	4	3	7		11	
	定点当り	2.06	1.97	2.60	2.00	2.00	1.33	1.00	1.75	0.00	2.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	10	23	17	2				3			1
	定点当り	0.28	0.64	1.70	0.33	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	86	99	32	14	4	18		9	4	5	13
	定点当り	2.39	2.75	3.20	2.33	1.00	6.00	0.00	2.25	4.00	1.25	13.00
感染性胃腸炎	報告数	500	535	143	111	14	38	59	67	12	71	20
	定点当り	13.89	14.86	14.30	18.50	3.50	12.67	19.67	16.75	12.00	17.75	20.00
水 痘	報告数	2	3	3								
	定点当り	0.06	0.08	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	3										
	定点当り	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	17	14	9	3	2						
	定点当り	0.47	0.39	0.90	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	13	12	4	3	1			2		2	
	定点当り	0.36	0.33	0.40	0.50	0.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	3			2						1
	定点当り	0.03	0.08	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	3	2		1						
	定点当り	0.33	0.50	0.67	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

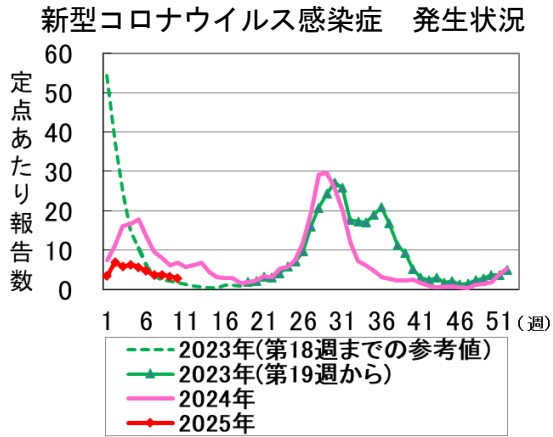
●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～10週 保健所受理分)

2類感染症	結核	25例(4)		
4類感染症	E型肝炎	2例	つつが虫病	4例
			レジオネラ症	2例
5類感染症	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	7例	梅毒	18例(3)
	破傷風	1例	百日咳	132例(30)
			播種性クリプトコックス症	1例

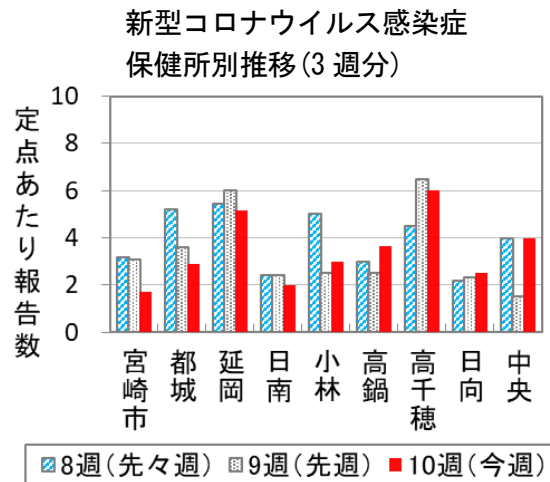
新型コロナウイルス感染症情報《県内第10週、全国第9週(再掲)》

□ 県内第10週 新型コロナウイルス感染症発生動向

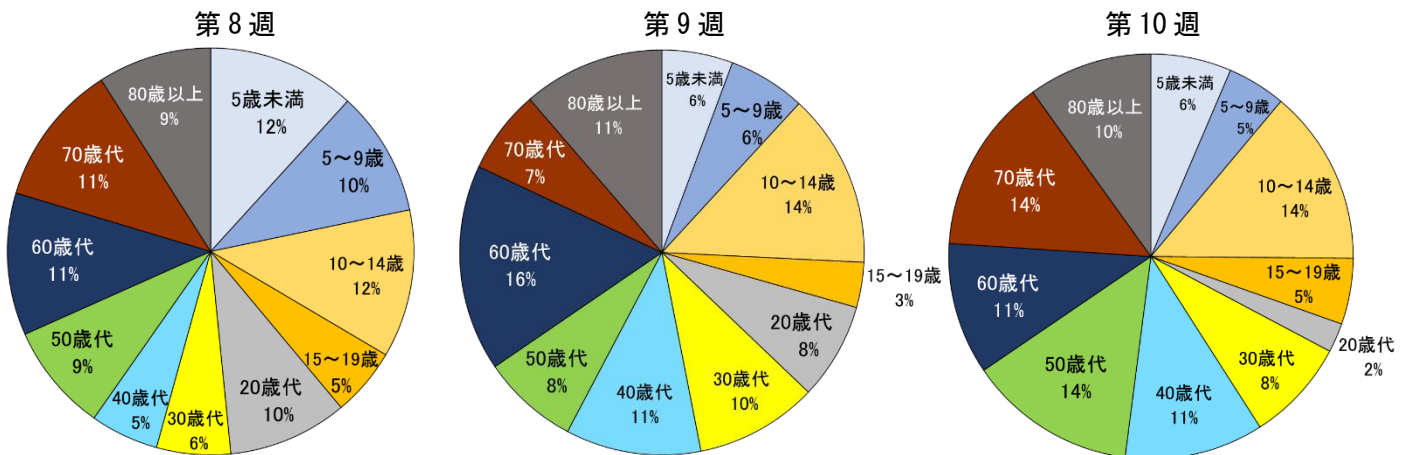
3月3日～3月9日までの1週間で171人(3.0)の報告があり、前週比88%と減少した。高千穂(6.0)、延岡(5.1)、中央(4.0)保健所管内からの報告が多かった。



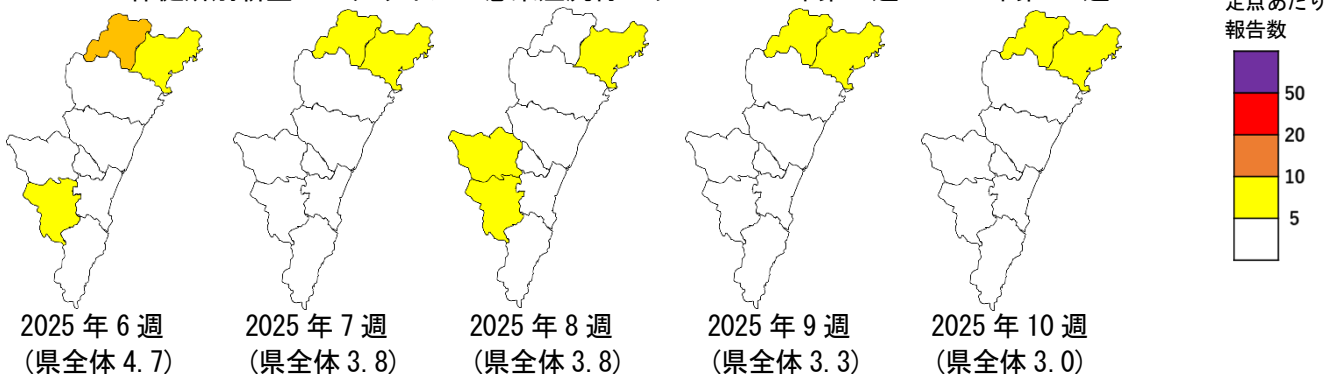
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2025年第6週～2025年第10週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第9週 新型コロナウイルス感染症発生動向

2月24日～3月2日までの1週間で21,790人(4.4)の報告があり、前週比89%と減少した。佐賀県(8.2)、愛知県(6.6)、長野県(6.6)からの報告が多く、年齢群別では60歳以上が全体の約3割、15歳未満が全体の約2割を占めた。